



# 日本におけるコミュニティガーデン設置・運営に関して

〔サロン・あべの〕11月の出会い

小春日和に恵まれた平成16年11月20日(土)、林典生氏(大阪府立大学院・農学部)をお迎えして

「日本におけるコミュニティガーデン設置・運営に関して」のお話を伺いました。林典生氏には、「誰でも参加できる場所へ」と題



コミュニティガーデンはサロンです

して「サロン・あべの」紙(192号(215号)に、約2年間コミュニティガーデンについて寄稿していただきました。

デンは空地(オープンスペース)で国土交通省の管轄になり、その中で都市緑化基金が設置されている。基本的には農地とコミュニティガーデンは管轄が別々であるが、地域住民が主体になって畑を作っていく過程は同じで基金「コミュニティガーデンネットワーク」がある。

## コミュニティガーデンとは

コミュニティガーデンは市民農園ともいわれ、地域住民が主体となつて、園芸などのさまざまな活動を行う場所。アメリカでは大都会での精神・知的障害者の就労支援の一つとして行われたり、フランスやドイツでは園芸療法として行われたりしている。また、障害の有無に関係なく地球環境の教育やレクリエーション活動としても行われている。

## 歴史

日本では農園は農地の扱いになり農水省の管轄になる。ガーデンの最初の目的は花作りではなく、食べるために作り始めた。19世紀、戦争や不況によって大都市の食料供給のためにアメリカではジャガイモ、日本ではサツマイモを育てた。その後1970年代のアメリカのキング牧師に代表される人権運動

が高まる。それと農薬の被害を回避するために有機農業運動が活発になり、安心して食べられる物を作る運動へと広がって行った。

アメリカのコミュニティガーデン協会のホームページでは、

コミュニティガーデンの効用として次のように言われている。

1 地域のリーダーを育てる。

2 食料を作ることが出来、家計を助ける。

3 犯罪を減らし健康な地域社会を創る。

4 市民参加を行う機会を与える。

5 社会的相互関係や政治参加などを促すのに必要な議論をする能力を付ける。

6 空気冷却・浄化作用や省エネルギーを可能にする。

7 都市の肺としての機能を持つ。

8 職業訓練の機会になる。

9 地域住民のストレスを減らす。

10 ホームレスの人が食料を作ることなどを通じて、自尊心をつけることが出来る。

11 民族が持つ文化的遺産を保存する。

12 子どもが活動したり学習したりする場になる。

13 リサイクルの場になり、家計の足しになる。

14 休息することで人々の生産性を向上させる。

15 身体的な運動の場になる。

16 忍耐力を付ける場になる。

日本でのコミュニティガーデン

日本では地域で世代間の交流

や作業療法・地域住民のつながり

などを目的に自然発生的に集まり、コミュニティガーデンの形

になってきた。

吹田市西山田「サクラソウ」では2人で始めたが、今では20人

だけでも意味がある。参加者の

## これは便利。

贈り物をするときや、本や写真を送るときなどにひとこと添えたい場合、便利なのがこの一筆箋です。

## サロンの一筆箋

一冊 一〇〇枚綴 一五〇

ほどもが増え、幼稚園生と親・地域の子育てサークルの人たちと活動している。

また、池田市渋谷公園「ハーブの会」では、ハーブと共に地域の人たちと楽しんでいる。

京都八幡市には、コミュニティ

「イガーデンディアレスト」がある。ここは、障害者とより親しく

(ディア)していろいろと活動している。

成人した障害者が他に行きにくい場合、その場所に参加する

だけでも意味がある。参加者の

皆が農作業をするのではなく、周りの人を巻き込みながら、土作り・物置小屋作り・車いすの高

さに合わせた作業作り・記録写真係りなど、各自の出来る役割をこなしていく。

大阪市西成区や住吉区などでもアルコール依存症の人が参加しているコミュニティガーデン

がある。アルコール依存症の人がその農園にたずさわわり、依存から抜け出せた話もある。

場所が狭くてもプランターを使用してハーブを植えたり二十

日大根を植えたり出来る。植えるのは花より食べられる物がよい。場所の広さではなく活動する人が、好きな事をするという気持ちが大切。障害の有無、年齢などに関係なく自然体で楽しみながらその時々に必要な仕事をしてくれる人を捜してくる。皆で知恵や力を出し合って出来るところから始めていく。収穫した時は、コンサートを開くのもよいし、ハーブスバゲティの食事を開催するのもよい。いろんな人に呼びかけて畑から地域の人々の交流を広げ、人をつなげ、人を育てていくのがコミュニティガーデン。コミュニティガーデンを立ち上げるには、地域の植物園などに問い合わせる。大阪では、大阪市長居植物園や大

大阪府花の文化園などに問い合わせるとよい。都市緑化基金や、屋上緑化助成、記念樹制度など助成制度がある。

・仕事で、精神障害者に園芸と関わっている。これを地域生活作りの流れにしたい。

・花は癒しと言われるが、並べ方や置き場所ですぐにストレスを感じさせるものもある。

・葱と春菊を育てている。

・自宅の屋上菜園でサツマイモを育てている。など。

最後に林典生氏は、「コミュニティガーデンはサロン。園芸だけでなく語り合い、ルールを守る場所である。」と言われました。

この日、此花区にサロンを作るので・・・と、参加された方がいらっしやいました。サロンの種子(趣旨)がまた一つ育てられる土壌を得られたうれしい11月の出会いでした。

参加者20名(富田慶子)

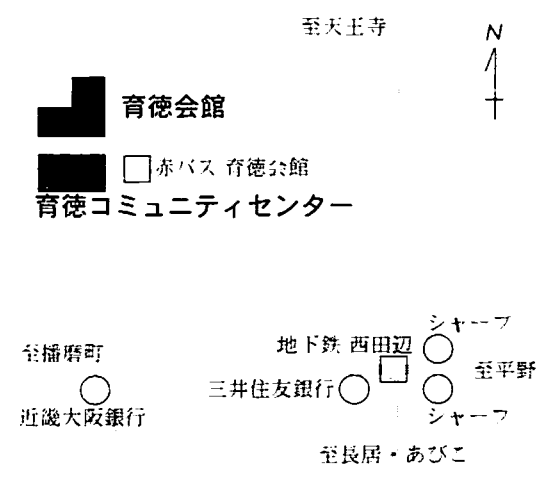
お知らせ

<サロン・あべの>1月の出会い

内容…車いすのジョージ  
- ありのままに生き抜いた男 -  
お客さま…上井俊次さん  
(てくてく・すみよし 代表)

日時…1月15日(土) 午後1時~4時  
場所…育徳コミュニティセンター2階  
研修室(スロープ・車いすトイレ有)  
大阪市阿倍野区阪南町5-15-28  
TEL 06-6621-1901  
最寄り駅= 地下鉄御堂筋線「西田辺」  
赤バス「育徳会館」下車すぐ

会費…なし  
問い合わせ先…  
TEL 06-6691-1028 (富田慶子)



11



## 邦子、 …ん歳の手習い。

### 重度障害者の自立生活

先日（11月13日）、自立生活センターナビ主催の自立生活セミナーがありました。私は、佐藤聡（メインストリーム協会）さんと地村貴士（自立生活支援センター）ばーとなあ）さんの「海外旅行おもしろ体験記」を聞いてきました。お二人とも脊髄損傷の車いす使用者です。

まず、佐藤さんは、先輩障害者の助言である「ホテルの予約をせず、寝袋で野宿する」ことに従い、初めてヨーロッパへ旅行して以

来、アジアを含む多くの海外旅行を経験されています。最初の到着地のパリで鞆を盗まれた時、英語も得意でない佐藤さんは大変落ち込んだらしいですが、大使館員の助言とトラベラーズエックの再発行で、旅行を続けられました。そして、その経験から、世の中何とかなると思うと、鞆を盗まれたことがうれしくなったということでした。そして、「殺されなければいいかなという覚悟を決めて行けば、旅は楽しいもので、新しい自分の発見につながる」と話してくれました。

地村さんは一体の障害がそのまま旅の障害になるわけではなく、準備と工夫、そして度胸と笑顔があれば、その人しか出来ないすばらしい旅の可能性が開ける」と話してくれました。地村さんは、中国の田舎町で、障害者が珍しいのか子供だけでなく、大人にまでどこまでもついてこられたことや、道を聞いたら、お金をくれてドアを閉められるというような差別に遭遇したそうです。若い地村さんにとって、今の日本では経験したことのない初めての差別経験だったということでした。しかし、お二人とも観光ルートからはずれた

旅行に果敢に挑戦されており、私はそのパワーに思わず「すごい」と心で叫びました。また、このセミナーに参加された障害者の中にも海外旅行経験を持つている方達も多く、障害者の自立生活運動もこの若い世代の障害者に引き継がれていると感じました。

日本の障害者の自立生活に影響を与えた運動の一つとしては、脳性マヒ者を中心とする青い芝の会の運動が挙げられます。1970年に、神奈川青い芝の会は、横浜の障害児を殺した母親への減刑嘆願運動に反対する運動を展開しました。その意見書では「たとえ寝たきりの重症児でもその生命は尊ばれるべきです。その原因を施設が足りないこと、福祉施策の貧困に帰するのは簡単だが、そのことで被告の罪が消え無罪になれば、そのことよって、重症児（者）の人命軽視の風潮を助長することになります。母親も現代社会の被害者ですが、犯した罪の深さから何らかの裁きを受けるのは当然です」（横田弘『障害者殺しの思想』より）という主旨が述べられました。それは障害者の生命の否定と障害者に対する社会の否定的なイメージを批判する障害当事

者自身からの社会への問題提起でした。

大阪市東住吉区にある中部障害者解放センターは青い芝の会の流れを汲みながら、地域に根ざした障害者自立生活運動を展開していったNPO法人です。このセンターは、1984年に障害者の日中の生きる場としての作業所を設立しました。しかし、作業所通所者の親の病気や死亡あるいは高齢化などにより、介護困難などの問題が浮上し、通所者の中には、自立施設かの選択を迫られるケースも出てきました。当時、介護の必要な重度障害者の場合、公的な住宅保障もなく介護保障もない中で、要介護の在宅障害者が直ぐに単独で自立生活をするのは困難であり、段階的な自立が出来るように1989年にグループホームが建設されました。その後、1998年に今回のセミナーを開催した自立生活センターナビを設立し、ピアカウンセリングや自立生活に必要な介護や所得保障の制度説明のアドバイスを行うなどの障害者自立支援を行っています。現在、ナビを含め、佐藤さんのメインストーリーム協会や地村さんのぽーとなあなどの自立生活センターは、障害者の自立に大きな力を与えています。(定藤邦子)

今年は何と災害の多い年だったことだろう。10個の台風が日本列島に上陸したり、大きい地震が新潟地方を中心に各地で起きたりしてその度に被害が出ている。その上、相変わらず殺人や虐待などの事件も多く、何とも重苦しく感じる1年だった。

さて自分にとって、この1年はどうだっただろう。今年もさまざまなことがあったが、この1年は例年よりも多くの人に出会うことができた。たとえばデイサービスやショートステイに行くたびに新しい職員や利用者に出会ってお話をするので大変うれしく思っている。

そしてまた8月から10月にかけて福祉事務所やヘルプステーションを通して10人ほどの実習生がわが家に来てくれた。

そんな中でT兄という26歳の大学生のことが忘れられない。将来は福祉の仕事をしたというT兄にその動機を聞くと、彼は「高校を出てから5年間働きました

が、福祉の勉強がしたくて大学に入りました」と答えてくれた。高校を卒業してから5年間も働いていたのに、再び大学に入って勉強するなんて余程向学心に燃え、福祉に対する思いが強い持ち主なんだろう、と私は深い感動を覚えたのである。

T兄だけでなく、出会った1人ひとりの人からいろいろなことを教わり、また反省もさせられた。

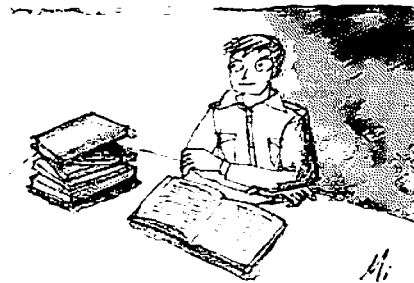
全体的に見れば確かに嫌な1年ではあったが、私自身にとってはたくさんの人に出会うことができ、良い1年だった。

## 晴れのち晴れ 75

人との出会いの年

——この1年をふり返って

稲垣 恵雄



## 本音と建前



米国で難病児の親の会を訪問し、インタビューをすることになった。というのも、私が日本でやはり難病児の親の会を対象にインタビュー調査をしてきたこともあり、日本と米国とで親の会の活動を比較してみたいと

思ったからである。

ただ、気がかりな点があった。それは旅行者であり、外国人である私に対して米国の親の会の人たちは「本音」で話してくれるだろうかということであった。その点を、こちらの大学の教授に聞いてみると「心配ない。喜んで話してくれるよ」という。本当だろうか信じがたい気分だ。

「日本の人たちは本音と建前を使い分ける。信頼関係のない人に対しては建前を言うだけで、本音は聞けない。日本であれば、初対面でインタビューしても建前しか聞けないと思う」と言うと、「理解できない」というような顔をされた。だいたい「建前」というのが、よくわからないらしい。

「建前」というのは「きれいごと」である。しかし「きれいごと」なしで人との関係をやっていけるのか、私には疑問だ。米国人でも建前を言うことがあるはずだと思う。似合ってもいない服を着ている人に「よく似合っていますよ」と言うこともあるだろう。

### \*好評のエッセイ\*

岡 知史著

知らされない  
愛について

700円

ほんの少しの  
神に近い部分

700円

しかし、一方で、米国人は建前をそれほど言わないのかもしれないと思ったこともある。昔、英会話学校に通っていたころ、その米国人教師と街で偶然に顔を合わせた。そのとき私が「この近くに住んでいるのですよ。また遊びに来てください」と習慣的に言うと、彼は喜んで「じゃあ、いつ行けばいいですか」と答えた。私は建前を言っただけで本気で誘ったわけではなかったたので、戸惑ってしまった。それを見て、彼は「ああ、それは日本的な言い方でしたね」と苦笑していた。

今回、米国に来るときも「手伝いますよ」

と言ってくれた米国人がいる。しかし私はそれは「建前」かもしれないと思い、その手助けを求めるような、求めないような曖昧な返事をしてきた。すると「あなたは手伝ってほしいのか、それともほしくないのか、どつちなのか」と問いただされた。これには驚いた。やっぱり米国人には本音と建前の区別はないのかもしれないと思った。

日本人なら「何かあれば手伝いますよ」と、まず建前を言うだろう。しかし実際に手伝いを求められると困るのではないか。転居案内のハガキに「お近くに來られたときはお気軽にお立ち寄りください」という文言を見て、本当に「気軽に立ち寄り」と蟹壁(ひんしゅく)を買うのと同じである。「手伝いたい」と本気で思うのなら、手伝ってほしいとも、ほしくないとも言わない相手に対して、繰り返し「手伝いたい」と言い、それが本音であることを伝えるしかない。

本音ばかりで世間が渡れるのか、社会が成り立つのか。不思議なことだが、移民社会が基本にある米国では、人々の伝統や価値観が多様であるため以心伝心は望めない。したがって本音と建前の使い分けなどは百害あって一利なしということなのだろうか。(知)

サロン・あべの紙221号の「人の歴史、国の歴史」読みました。

とつても納得できます。

それぞれの国はそれぞれの文

化があり、一人ひとりそれを受  
け止めて体現しています。アメ  
リカという国であつても、例え  
ば食文化を全部受け止められる  
はずもなく、同じ国の中でいろ  
いろな家でいろいろな国の食卓  
を囲んでいます。

今日も出かけた先で黒いペー

ルをかぶり、目だけを出してい

るイスラムの女性らしき人がい  
ましたが、身につけている考え  
や習慣は、どんなことがあつて  
も、自由の国アメリカであつて  
も、変えられないのだなあと思  
います。

私はアメリカの人たちの心の  
大きさをいいなあ、と思つていま  
す。どんな人種であつてもあたり  
まえに受け止めてくれる感じ。

はあとが、はろー！

頒布価500円(送料別)

上田千鶴(シカゴ)

赤松 昭

# 「谷間」に

## こだわり続けて

7

### 「谷間」という言葉の使われ方(その3)

さて、「谷間の使われ方」の歴史的検証の最後です。1970年代頃に谷間は制度と制度の間を意味する言葉となりましたが、80年代に入るとさらにその意味合いを変化させます。例えば、学校内で起こった事故で障害をもつことになった児童について、共産党の藤木洋子議員は次のように言っています。「被害者当人は大半が寝たきりや、最も重度の障害者であるために、ただでさえ貧弱な福祉の谷間に置かれて見捨てられてきました」(衆院文教委

員会 1985年)。つまり、福祉というひとつの制度の中でも、さらに疎外されている人たちがいる、ということはこの発言は意味しています。さらに、皆さんご存じの前参議院議員の西川きよしはこう言っています。「健康者でもなく障害者でもない。福祉の谷間で揺れている小児糖尿病患者を、病気を隠さず就職できるようお願いいたします」(参院厚生委員会 1991年)。ここではその社会的帰属が明かでないために、不利益を被ることの不合理性が指摘されているのです。ちなみにこの西川きよし、「福祉の谷間」という言葉を国会質疑の中で最も多く使った人のようです。

以上見てきたように、国会答弁の中で「谷間」の持つ意味合いの変化を追っていくと、その想定する層が次第に小さくなっていき、次第に固有の問題の言及へと帰着していくのが見て取れます。これは、国政という舞台での問題提起者である国会議員が、社会構造そのものに焦点を当てることを次第に減らし、その代わり国民の日常生活の側面に焦点を当てようとしてきた姿勢の変化を反映しているものと思われま

す。このようにして、今では「谷間」という言

葉は、新たに出現した社会的問題、あるいは新たに発見された障害を対象とし、そうした「個別のニーズ」あるいは「均質社会の中の不平等」に応え、是正していくことを求める際の戦略的言語として使われるようになったのです。さらに、この言葉はそれが制度とか福祉という語と共に使われる場合は、「当人には何の落ち度もない」「システムの不備によつてもたらされた」不利益であり、従つてそれは「公的責任によつて救済されるべき」という意味合いが付与されています。そして、こうした意味合いと文脈の上に、例えば最近では高次脳機能障害に関わる問題が提起され、その救済策の構築が社会に訴えられていくのです。

ありがとうございます。

カンパ、お茶・お菓子・切手・大型封筒などのご寄贈、またサロングッズのお買い上げ、ありがとうございます。

井坂ひとみ、岡賀寿子、神城昭子、竹村定子、中野咲子、松村順子、山本鈴子、山本敏子、その他の方々。(敬称略)



# 美智子のこんな話

岸田美智子

「グランドデザイン案」て何？

最近、厚生労働省の社会保障審議会障害者部会でこの「グランドデザイン案」が提起されました。内容的には、これまでの補助金制度をカットし、基本的に障害者福祉サービスは、市町村が提供し、都道府県や国は人材養成や地域格差の是正などの役割を担うとされています。

また、身体・知的・精神を一本化し、そのためにすべてを盛り込んだ「障害福祉サービス法」を新たに作ることを提起しています。三障害を平等に一本化することは、ある面では(精神障害者は支援の対象から外されていきました)良い事なので社会的にもこのグランドデザイン案を支持する障害者団体も出

てきています。

しかし、その内容を詳しく見ていくとグループホームや福祉ホームでは、現在カイ

ドヘルパーやホームヘルパーなどの制度

を併用することが出来ていますが、この案では認められていません。入所施設とは違い、グループホームではホームヘルパー制度も併用する事によって、入居者がいろいろな体験を積み、自立生活を送るためのいろいろな力を付けたりしているのです。

このような利点がなくなっていくならば、グループホームも職員の手が足りず閉鎖的な入所施設と同じようになってしまい、障害者の自立生活がますます妨げられてしまいます。そして、提供されるサービス体系もすべて見直され「介護給付、自立支援給付、地域生活支援事業」の三つの体系に整理されています。この給付体制の詳しい説明は、またの機会にしたいと思いますが、サービスを利用するにはその量によって利用料の負担が考え

られています。入所施設もホテルコストが導き入れられ、障害者の所得保証がまだまだ実現されていないのに、お金がどんどん取られてしまう問題が十分予想されます。

このように問題の多いグランドデザイン案が、着々と私たち障害者の当事者が知らない間に進められています。このグランドデザイン案については、厚生労働省のホームページやJIL（全国自立生活協議会）などのホームページにアクセスしていただくと全内容が掲載されています。ただ、ページ数が50〜60ページにも及ぶので分かりにくいかもしれませんが、皆さん、勉強してみてください。

なお、まいどの通信にもこのグランドデザイン案の分かりやすい要約を掲載しています。ご一読ください

○連絡先

自立生活センター・MYIDOKUまいどく  
〒558-0002

大阪市住吉区長居西1-9-12キミハウス1階

TEL 06-6609-3133  
FAX 06-6609-3210

……ききみずさん

## 年の終わりに

今年も残り少ない日々となりました。自然災害や事故・事件など思いもかけないことが多く起こりましたが、皆様のこの１年はご無事でしたでしょうか。＜サロン・あべの＞はお陰さまで、楽しい出会いをいろいろ体験する事ができました。ご協力いただきました皆さま、ありがとうございました。来る年も皆さまと新しい出会いをしてゆきたいと思えます。が、年内にお別れした方もおられます。その中でご自身のお言葉でお別れのお知らせをいただきましたので、ご紹介させていただきます。

.....

### 感謝

私は皆様にお別れをしました

私らしく生きられたのも 神様の御計画 そして皆様方とのお別れも神様の御心と信じています

これからは 先に行かれた 田村春雄 張知夫 中新井邦夫先生方と医療福祉について 長く語るものと楽

しみにしています

七十年の人生 いろいろご支援ご指導 お交わりをいただき

心よりお礼申し上げます

澤田 啓祐

.....

平成16年10月6日 逝去

澤田啓祐先生は、府立厚生相談所所長をしておられましたのでお世話になった方も多くおられる事と思えます。＜サロン・あべの＞では平成4年3月にお話をさせていただきました。その時、「健常者は100%の機能を2～3割しか活用していないが、障害者は残った機能を100%活用しても健常者のようにはいかない。」という意味のお話をされました。それ以後、私自身の障害についての考え方がとても楽になった思いがあります。

感謝と共にご冥福をお祈り申し上げます。(け)

### サロンの

# 絵はがき

5枚1組 ¥180

＜サロン・あべの＞の活動資金調達にご協力をお願いします。



SALOON

隣組ニュース

### ■「サロン淀川」1月の出会い

日時：1月16日(日)午後1時30分～4時  
内容：今年最初のサロンは、カンツォーネで明  
けます～カンツォーネ(イタリア歌謡)  
の迫力と魅力を満喫してください～  
ゲスト：森 ヒロム氏(カンツォーネシンガー)  
会費：なし  
場所：淀川区在宅サービスセンター「やすらぎ」  
大阪市淀川区三国本町2-14-3  
問い合わせ先：淀川区社協(ボランティア・ビュー  
ロー) ☎06-6394-2900  
E-mail: sorajii@iris.eonet.ne.jp

### ■「サロン・にし」1月の出会い

日時：1月8日(土)午後1時30分～4時  
内容：みんなで、書初めをしよう!  
場所：西区在宅サービスセンター6階  
ボランティア・ビューロー室  
大阪市西区新町4-5-14(西区役所隣)  
地下鉄=西長堀駅4-A号出口からすぐ  
市バス=地下鉄西長堀駅からすぐ  
☎06-6539-8075  
会費：なし  
問い合わせ先：関口 ☎090-4281-5641

### ■「サロン・ひらの」1月の出会い

日時：未定  
内容：未定  
会費：未定

問い合わせ先：平野区在宅サービスセンター「にこにこ」  
大西 ☎06-6795-2525

### ■「サロン・にしよど」1月の出会い

日時：1月22日(土)13:30～15:30  
内容：カラーセラピー  
さまざまな画材・素材を使って色を塗っ  
たり絵を描いたり、色と心のつながりを  
実感してみませんか?  
講師：NPO法人 色とこころのネットワーク  
場所：西淀川区在宅サービスセンター  
「ふくふく」大阪市西淀川区千舟2-7-7  
☎06-6478-2941  
会費：参加費無料、材料費100円いただきます。  
問い合わせ先：中本勝也  
☎090-9864-9678

### ■「ウイズ東淀川」1月の出会い

日時：1月9日(日)午後1時30分～4時  
内容：恒例! 新春カラオケ大会♪～♪  
～カラオケ大好き仲間、集まれ!～  
パネラー：堀北純生氏  
会費：なし  
場所：東淀川在宅サービスセンター  
「ほほえみ」[東淀川区菅原4-4-37]  
問い合わせ先：森田真千子  
☎・FAX 06-6340-8038

### ■「サロン・いたみ」1月の出会い

日時：1月15日(土)午後2時～3時  
内容：ハーブのリース作り  
会費：なし  
場所：伸幸苑(伊丹市寺本6-150)  
問い合わせ先：黒野 ☎072-781-3549

声で読書のお手伝い

音訳テープのご案内

音訳グループ「糸でんわ」のご協力で<サロン・あべの>紙第221号の音訳テープが出来ました。

■音訳テープ文庫

- (a) <サロン・あべの>紙は、第1号より第221号までそろっています。
- (b) <サロン・あべの>十周年記念誌「はあとが、はろー！」
- (c) 絵本「未知の記憶」(作・絵 中川勝彦)
- (d) 「ラジオたんぱ」放送「<サロン・あべの>平成7年5月の出会い」放送分(30分)
- (e) エッセー集「逃げた『ヨナ』～ボランティア活動の周辺～」(岡本栄一著=糸でんわ音訳)
- (f) 「キミたちだけじゃ困るんだ～身障者だけで旅した十余年～」(山田誠1995・2・22著=糸でんわ音訳)
- (g) 「金子みすずへの旅」(島田陽子著=糸でんわ音訳)
- (h) 「夕やけ空のオニヤンマ」(牧ロー二著=糸でんわ音訳)
- (i) 「ガベちゃん先生の自立宣言」(曾我部教子著=糸でんわ音訳)
- (j) 「セルフヘルプグループ」(岡知史著=糸で

んわ音訳)

- (k) 「名物 天王寺かぶら」(猿田博創作 難波利三監修=大阪市立天王寺図書館制作)
- (l) 「知らされない愛について」(岡知史著=ぼけっと音訳)
- (m) 「愛 ひとり旅」(奥田真祐美著=糸でんわ音訳)
- (n) 「奥田真祐美のシャンソン手帳」(奥田真祐美著=糸でんわ音訳)
- (o) 「もうちょっと知っとく? 私たちの阿倍野」(難波りんご著=糸でんわ音訳)
- (p) 「猫とシャンソン」(奥田真祐美著=糸でんわ音訳)
- (q) 「ほんの少しの神に近い部分」(岡知史著=糸でんわ音訳)
- (r) 「動くしずかに」(河野勝行 編・著=糸でんわ音訳)
- (s) 「たまごが ポン!」(稲垣恵雄著=糸でんわ音訳)
- (t) 阿倍野名所旧跡いろはがた(猿田博=糸でんわ音訳)
- (u) 交わりのなかで ～ホームヘルパー残像～(加藤みどりさんを偲ぶ文章を作る会著=糸でんわ音訳)

ご希望の方には、ダビング、または貸し出しをしますので、富田(☎06・6691・1028)まで。

寄りみち



土を作り、種を蒔き、育て、収穫し、食べ、保存する――。一連の園芸活動の中には、私たちの暮らしに欠かせないさまざまな生活要素があります。また、うれしい、きれいな、懐かしい、悲しい、静まる、おいしい、よい香り、いい手ざわりなど、五感に訴えるものが多く含まれています。園芸療法とは、こうした園芸活動が持つ特性を、人々の心や体のリハビリ、社会復帰、生きる力の回復などに役立てていこうとする療法…と、園芸療法研究会西日本のホームページに。(石)

<サロン・あべの>VOL. 222 発行：平成16(2004)年12月18日 定価¥100  
 編集人：<サロン・あべの>運営委員会 表題：中西利香・筆 文中イラスト：石田美禰子  
 事務局：〒545-0021 大阪市阿倍野区阪南町6-3-26 富田慶子方<サロン・あべの>  
 TEL・FAX 06-6691-1028 郵便振替口座：サロン・あべの 00950-9-26941  
 印刷：セルフ社 〒546-0044 東住吉区北田辺町4-23-2 ミスターDビル2F TEL06-6719-8212  
 本紙はホームページでもお読みいただけます。書庫は、<http://pweb.sophia.ac.jp/~t-oka/salon/>